

わたしから始まる高知の食育

～毎月19日は「食育の日」～



学びの場としての街路市

子どもや学生の関わる機会を増やす取組

高知の食文化を季節感とともに体感できる街路市。ここは、子どもたちや学生の学びの場としても利用されています。

県内外を問わず、大学や専門学校などでは、街路市を研究の対象とする学生も少なくありません。本市では、こうした研究活動に積極的に関わっており、助言や協力を行っています。

また、高等学校などによる出店体験も随時受入れています。出店体験は単に学生が商品販売を学べるだけでなく、若者たちが街路市で活躍する様子が、ベテラン出店者にとっても励みになっています。



高知商業学校ジビエ部による小学生の販売体験

(掲載許可取得済)

このほか、市内・県内の保育園、小学校の遠足や見学、県外の中学校、高等学校の修学旅行などの場としての来市も多くあります。

幼い頃から、大人になるまでの間、何らかの形で街路市に触れ、身近に感じてもらうことは、未来の街路市関係者（利用者・出店者など）を育てるための大切な一歩です。

本市では、今後とも出店者などの街路市関係者と協力しながら、こういった取組にも力を入れていきます。

☆ 〆 「がいろいろいちおかいもの券」の配布

出店者からなる街路市組合の事業として、平成20年から毎年、主に市内の保育園・幼稚園に「がいろいろいちおかいもの券」を配布するお客様感謝事業を行っており、出店者の皆さんにも、園児たちが購入しやすいように小分けにした特別に安価な商品を準備するなどの協力をしてもらっています。



利用期間の10月～12月には、多くの保育園・幼稚園が来市し、特に木曜日では、秋から冬の味覚を体感する園児たちで賑わう光景が見られます。